

## 「色弱者の見え方を体験しよう」

～多様な色覚を持つ子どもたちの理解と学校ができること～

講師 有限会社ソノーク代表取締役 栗田 正樹 氏

8月25日(木)に栗田 正樹 氏を講師にお招きして、実技研修会を実施しました。

学級に1人の割合で色覚特性をもつ子どもがいると言われています。昨今では、その子どもたちが、進学や就職の際に制限を受けたり、困難に直面するという問題も新聞などで取りざたされています。

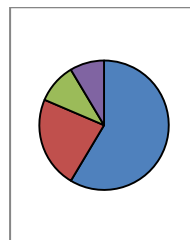
また、色覚特性のある人たちの見えづらいものや学校現場で配慮できることについても教えていただきました。さらに、暗闇の中の青色や濁った川の中の魚などを見る能力に長けていることや色覚制限がある職業についてのお話も聞くことができました。

### ☆見えづらいもの

- 発行ダイオード○黒板の赤チョーク○カレンダーの祝日
- タクシーの空車か乗車かの掲示○野菜の腐り○焼肉の焼け具合  
など

### ☆学校現場でできること

- 表などの境目にラインを入れる
- eyeチョークの使用
- 色を言いながら黒板に書く  
など



### ☆色覚の制限がある職業

- パイロット○警察官○消防士○自衛官  
など

研修の中では、色のシミュレーターというアプリや眼鏡、特殊なライトを使って、色弱の方の見え方も体験させていただくことができ、大変有意義な研修となりました。また、『色弱は治るものではなく特性であること、違いでも異常でもなく、多数派か少数派か、もしくは多様性である』という栗田先生のお言葉を聞き、改めて今後、色のバリアフリー化が進み、色覚特性のある方が、一層暮らしやすい社会になることを願いながら、私たちもまずは学校現場でできることを考えて実践いきたいという思いを強くしました。